

令和5年度

第1回 進路説明会



令和5年6月20日（火）

印西市立西の原中学校

3年__組__番 氏名_____

目次

1. 進路指導とは	P 1
2. 進路指導の基本的な考え方	P 1
3. 進路決定の指針	P 1～P 2
4. 卒業後の具体的な進路	P 2～P 4
5. 公立高校について	P 5～P 6
6. 私立高校について	P 6～P 7
7. 学校訪問（学校見学・体験入学）	P 7～P 9
8. 令和5年度進路関係計画と学習の見通し	P 10
9. 受験期の生徒を理解するために	P 11
10. おわりに	P 11
・令和元・2・3・4年度卒業生の進路先一覧	資料1
・千葉県公立高等学校の通学区域	資料2
・令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程	資料3
・「一般入学者選抜」の検査内容と選抜方法	資料4～7
・学区別／専門学科設置高等学校	資料8
・普通科内に設置されているコース	資料9
・県立学校改革推進プラン	資料10
・令和5年度千葉県公立高校入試概況	資料11
・私立高校の入試日程と推薦制度	資料12
・令和5年度千葉県公立高校「一般入学者選抜」入試結果①	資料13
・令和5年度千葉県公立高校「一般入学者選抜」入試結果②	資料14
・調査書（昨年度の様式）	資料15

進路指導について

1. 進路指導とは

生徒の個人資料、進路情報、体験的学習及び相談を通して、生徒が自ら将来の進路を選択・決定し、進学または就職できるようにすることです。また、その後の生活によりよく適応し進歩する能力を伸長できるように、組織的・継続的に指導・援助する過程のことを言います。

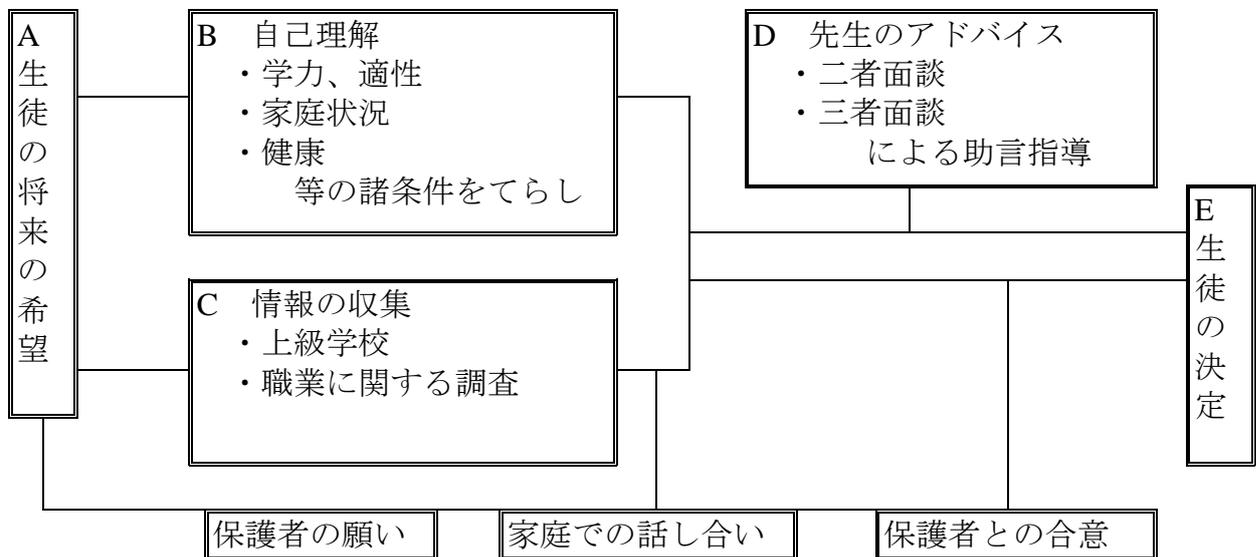
学校では、進路適性の吟味、進路情報の理解と活用、望ましい職業観の形成、将来の生活の設計、適切な進路の選択などについて、学級の時間等を通じて学習を進めています。進路指導とは「将来にわたる生き方」を考えていくことです。

2. 進路指導の基本的な考え方

進路選択とは単に受験校を決め、試験を受けて入学するというだけの問題ではありません。自分の将来を自分の手で切り拓いていく力を身につけることです。よりよい進路選択のために、次のような考え方で進路指導を進めていきます。

- (1) 担任からの指導・援助を基本としつつ、学校全体で指導にあたります。
- (2) 高校進学だけでなく、将来的な進路選択の立場に立って考えていきます。
- (3) 本人・家庭・学校が連絡を密にしながら、最終的には本人の意思決定を尊重します。
- (4) 進路に対する適切な情報を提供し、的確に判断する能力を育成します。

3. 進路決定の指針



※ A～Eについて・・・

A. 生徒の将来の希望

- (1) 将来どんな人生を送るか考えてみる。
- (2) 目指す職業と関連させる。
- (3) 目的意識や目標を明確にして将来を計画する。

B. 自己理解

- (1) 個性を知り、適性を考える。
- (2) 実力をふまえて、自分の将来を見通した進路決定を行う。
- (3) 家庭の条件を考える。
他にも、健康面や運動能力、趣味と特技、職業に関する興味関心など。

C、情報の収集

自分の希望進路に関する情報を集め、進路決定に役立てる。

- (1) 「中学生生活と進路」を使って学習する。
- (2) 進路コーナーの資料やタブレットを活用する。
- (3) 先生方や先輩から話を聞く。
- (4) 進路希望先を訪ねてみる。

D、先生のアドバイス

印旛郡市の進路指導連絡協議会や高校・各種学校の中学校訪問等で得た情報を適切に伝え、学校全体での進路検討会議等で、一人一人の進路について検討を重ね、助言や支援をしていきたいと考えています。

E、生徒の決断

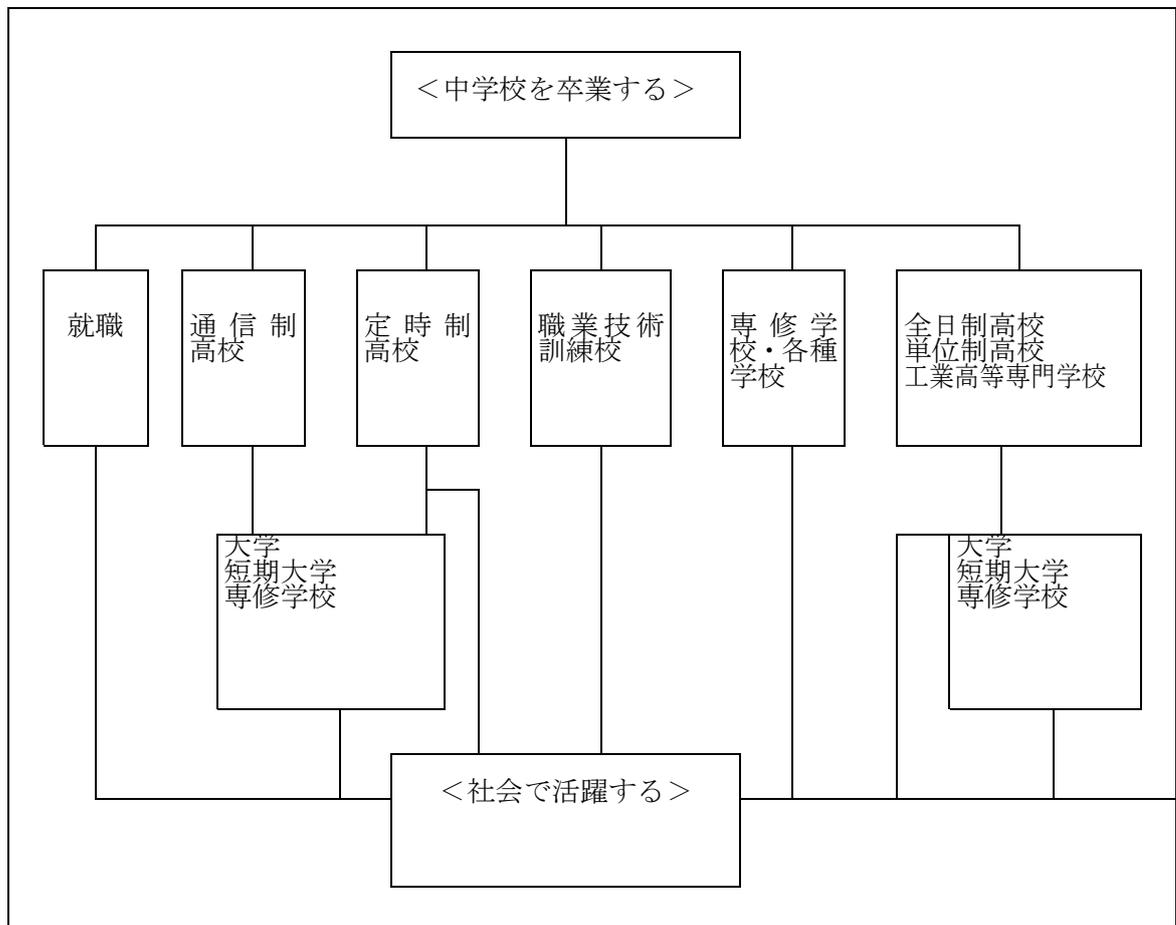
進路先の決定は、本人の意志と責任で行う。

どうしてその進路を選ぶのかをよく考え、目的の明確な進路選択をしてほしいと思います。本人の希望について、ご家庭でもよく話し合ってください、最終的に本人自身が決断してください。

4. 卒業後の具体的な進路

中学校卒業後の主な進路としては、次のようなものが考えられます。

- 〔1〕 高校への進学（全日制・定時制〔3部制、夜間〕・通信制）
- 〔2〕 工業高等専門学校への進学
- 〔3〕 専修学校・各種学校等への進学
- 〔4〕 職業技術訓練校への進学
- 〔5〕 企業内高校への進学（就職）
- 〔6〕 企業への就職



〔1〕高校への進学について

高校の種類

(1) 課程の違い

- ①全日制高校 平日の昼間に授業を行う。3年間で卒業。
*公立(県立、市立)高校
*私立高校
*国立高校(公立ですが試験日程の関係で県立・市立とは分けて考えます)
- ②定時制高校 特定の時間帯(主に夜間)に授業を行う。3~4年間で卒業。
働きながら学ぶことを目的としてつくられた高等学校。
*県立東葛飾高等学校など
三部制は、午前部・午後部・夜間部からなる定時制のことで、個性やライフスタイルに応じた柔軟な学習が可能なのが特徴です。
*県立松戸南高等学校など。
- ③通信制高校 自宅での課題作成やレポート作成や若干のスクーリング等で授業を行う。単位を取得し、卒業資格を得る高校。3年間以上在籍で卒業ができる。
*県立千葉大宮高校、私立明聖高校、あずさ第一高校など。

(2) 学科の違い

- ①普通科 国語・数学など普通科目を学習できる学科。
- ②専門学科 専門科目の学習に重点を置いた学科。
*英語科、体育科、商業科、家政科、工業科、園芸科 等
*千葉県立西陵成田高等学校：食品科学科、情報処理科、千葉県立成田国際高等学校：国際科、千葉県立松戸高等学校：芸術科など。
- ③総合学科 普通科目と専門科目の両方を学習できる学科。生徒の進路希望に応じて学習できる。
*千葉県立小金高等学校、千葉県立幕張総合高等学校、千葉県立八街高等学校など。

〔2〕工業高等専門学校への進学について

5年制で、高等学校の内容からある程度の専門的な内容までを学ぶ専門教育機関であり、卒業後大学3年生へ編入の道もあります。(短大卒業と同等の資格が得られる。)

千葉県には、国立木更津工業高等専門学校があります。

〔3〕専修学校・各種学校への進学について

これらの学校は、社会の要請や生徒の希望などに応じて、比較的短期間に知識や技術を習得させることを目的にしたものや、資格を得るための基礎になる勉強をすることを目的にしたものなど、それぞれに特色があります。就学期間は、1年間~3年間のところがほとんどです。

- ・「各種学校」のうち一定以上の規模を持つものを専修学校といいます。
- ・3年間の高等課程を持っている専修学校は、卒業すると大学受験資格が与えられます(要確認)。また、他に専門分野の資格を在学中または卒業時に取れますので、就職については有利な面があります。
- ・「高校卒業資格」を通信課程で取得できる専修学校や、それをサポートしてくれる

専修学校や各種学校もあります。

- ・分野 工業……電気工事、自動車整備、建築など
衛生……調理関係、理容・美容関係
商業実務……経理、簿記、ワープロ、パソコンなど
服飾・家政……洋裁、和裁、編み物、手芸など

〔4〕職業技術訓練校への進学について

修業年限は、6か月～2年間で、実習を主とした教育が行われます。

学割通学や、工具・教材無料貸与制度があり、ほとんど授業料は無料です。千葉県立我孫子高等技術専門校や千葉県立船橋高等技術専門校などがあります。職業訓練校を希望する者は、職業安定所を通して出願しますので、早めに申し出てください。

入試説明会……10月下旬

募 集……1月中旬

試験科目……国語・数学・面接

〔5〕企業内高校への進学について

企業が社員養成のために設置している学校で、その企業に就職することを条件にしており、ほとんどの場合給料が支給されます。高等学校卒業資格をとれる場合がほとんどです。

*トヨタ工業学園、日立工業専修学校高等課程などがあり、寮があるところもあります。（入試レベルは、とても高いです）

〔6〕企業への就職について

中学校卒業後、就職を希望する場合は以下のような流れで就職先を決定していきます。職業安定所（ハローワーク）からの中学生向け求人募集も毎年送られてきます。しかし、求人数は少なく、職種も限られていることがほとんどです。現状をよく理解し、選択をしてください。

(1) 就職関係の日程（一応の目安としてご覧ください。）

- ・7月から 求人があれば、職場見学
就職相談（四者面談、職業安定所の職員+保護者+生徒+担任）
- ・1月上旬 試験受付 就職試験（随時）

(2) 手順

- ① 就職する意志がある場合、学校（担任）に申し出てください。
- ② 本校の進路指導主事が、職業安定所に希望者を報告します。
- ③ 就職希望者に対して職業安定所で、就職相談に応じてくれます。
- ④ 会社等が決定したら、就職相談表に記入し、進路指導主事に提出します。
- ⑤ 求人者から選考月日等の通知が本人または学校に来ます。
- ⑥ 選考は1月1日以降です。
- ⑦ 採用通知は、1週間以内に本人または学校に届きます。
- ⑧ 採用が決定したら、会社等に提出する書類を取りまとめておきます。

○就職を決めるに当たっては、職業安定所（ハローワーク）の指導と援助を受け、本人・家族・学校（担任）などと相談の上、決定し、採用試験を受けます。知人などの紹介があった場合でも、職業安定所を通した方がよい結果が得られているようです。

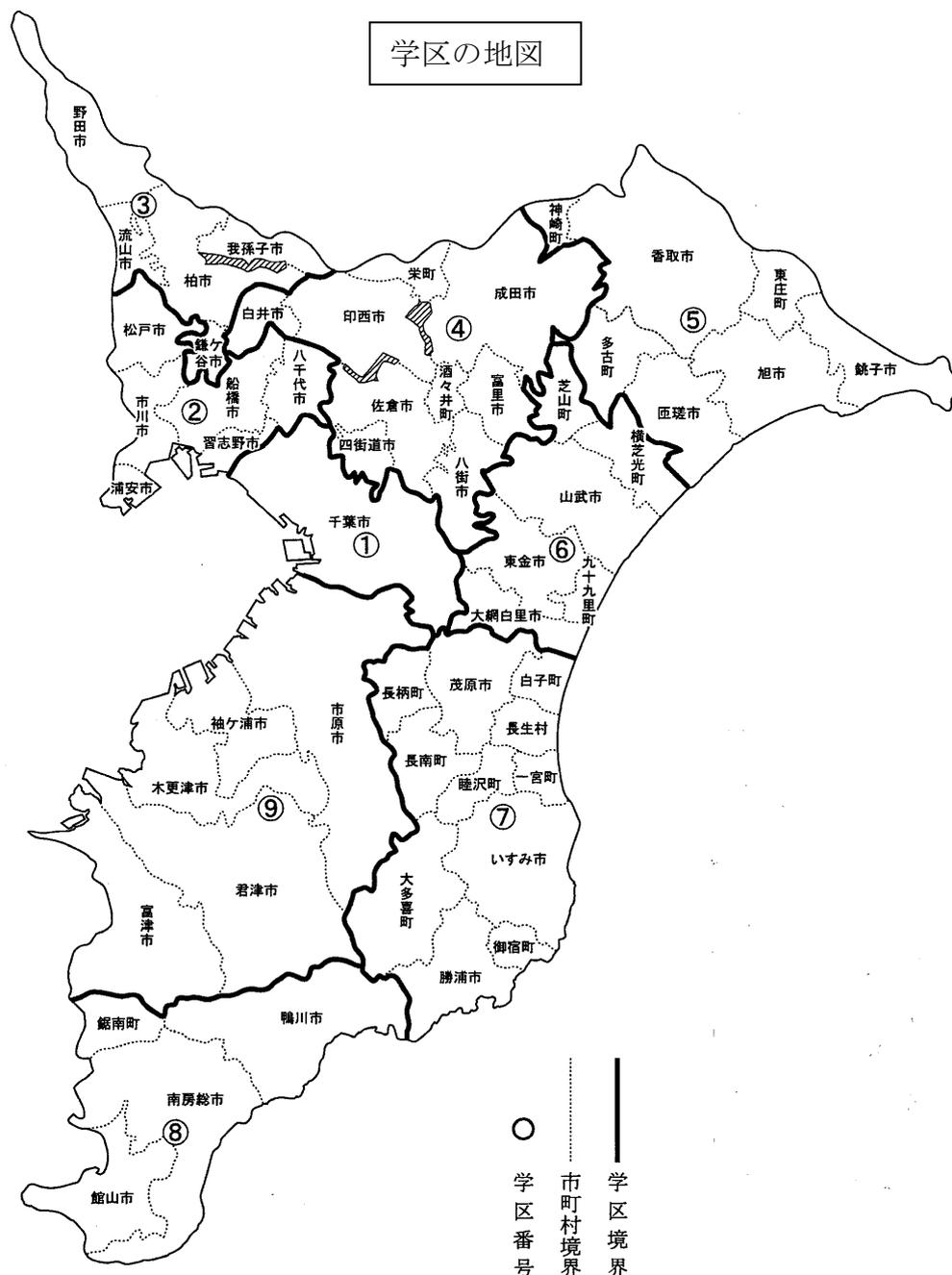
○昨今、中学校卒業生への求人はたいへん厳しい状況です。高等学校等の入学試験が終了してからの就職活動は相当厳しいものになると思われます。そのため、「高校入試で合格しなかったら、就職する」という進路選択の方法は現実的ではないということをご理解ください。

○親類縁者の紹介による就職の場合、その旨を早めに連絡下さい。

5. 公立高校について

(1) 志願できる学区について

- ①普通科については通学区域が指定されており、**印西市は第4学区**になります。
普通科について印西市から志願できるのは、千葉市・大網白里町以北にあるすべての市町村にある県立高校(第1・2・3・4・5・6学区)であり、実質的には通学可能な範囲のすべてが受検可能です。また、千葉女子高校、幕張総合高校、木更津東高校は県内全域から受検可能です。ただし、市立高校の普通科で受検が可能なのは、習志野市立習志野高校、柏市立柏高校、船橋市立船橋高校、松戸市立松戸高校、銚子市立銚子高校です。
- ②専門学科については、県内どの公立高校も志願できます。
⇒資料2「千葉県公立高等学校の通学区域」



※高等学校の所在地がわかる詳しい地図は、各教室や教室前廊下に掲示しています。

(2) 入試制度について

[出願時の注意]

- ※他の公立高校を併願することはできません。
- ※必要な出願書類をきちんとそろえて期日までに高校に提出します。

[選抜科目等]

- 国語・数学・英語・理科・社会の5教科（英語は60分、後の4教科は50分）です。国語は聞き取り、英語にはヒアリングがあります。
- 高等学校ごとの検査：面接、集団討議、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査、その他の検査のうちから一つ以上実施されます。面接では、日頃の生活習慣が態度等に表れます。
 - ※各教科100点の合計500点です。（理数科と外国語に関する学科については、理数または英語の得点が1.5～2倍になります。）
 - ※願書提出後、希望変更・志願変更が1回に限りできます。（定員に満たない場合のみ2次募集を行います。募集を行う高校数、募集人数とも少数になっています。）

[選抜方法]

- 選抜に当たっては、学力検査の成績、調査書及び各高校において実施した検査（面接など）の結果を資料とし、能力適性等を総合的に判定して選抜を行います。

選抜の基準（「一般入学者選抜の選抜・評価方法」）については、各学校のホームページにも掲載されています。令和6年度選抜（現中3生の受検する選抜です）については、10月中旬に発表される予定です。

6. 私立高校について

- (1) 特色ある教育方針や校風を持っています。
 - 教育課程の独自性（進学コース、能力別クラス編成、スポーツコース）
 - 生徒指導の重視（礼儀作法、身だしなみ等の指導徹底など）
 - 特待生制度の実施（授業料、入学金の免除）
 - 高校・大学の一貫教育制度
 - 施設・設備の充実
 - 学費等の経費は割高（就学支援金が利用できます。）
- (2) 学区については、公立のような学区はありません。（どこからでも受験可）
- (3) 出 願 試験日が異なれば、複数の学校を受験することができます。ほとんどの私立高校では Web 出願が採用されています。
- (4) 学力検査 国語・数学・英語の3教科が多く、ほとんどの高校で面接を実施しています。また、作文を実施するところもあります。
- (5) 日 程
 - ◎前期選抜試験は、1月17日頃からの時期に行われます。（茨城、東京は別日程）
 - ◎後期選抜試験は、2月5日頃からの時期に行われます。⇒資料 13
 - ※後期選抜試験を行わない私立高校も増えています。必ず確認してください。
 - ※詳しい日程については、各高校の募集要項で必ず確認してください。

(6) 入学手続き（入学金等の納入が、手続き完了の条件です）

○第1希望（単願・専願）の場合は一括納入。

○第2希望（併願）の場合は公立の合格発表まで手続き締切りの延期が可能で、一時金として入学一時金を納める高校があります。金額は2～5万円の学校が多いですが、学校ごとに異なるので、募集要項で確認をしてください。この手続きを行わないと、入学する権利を失うことになり、併願として受験した意味がなくなります。

(7) 私立高校の入試相談制度について

受験希望者について私立高校と中学校とが事前に相談を行う制度のことです。具体的には、12月15日以降に中学校の担当者が受験希望者の資料を持って、その私立高校へ相談に行きます。

それをもとに高校側は、今年度の受験についてのアドバイスをしてくれます。

事前に相談をすることによって、合格の可能性についてある程度の見通しを持つことができます。そのため有利になる場合がありますが、基本は当日の試験の結果が重要視されるので、試験を頑張るのはどの高校も同じです。ただ、試験当日本来の力を発揮できなかった場合など、普段の成績も考慮してくれるため合格の可能性がかなり高くなると考えてください。

①第1希望(単願・専願)

その私立高校を第1希望とした相談は、合格の可能性が高くなる場合があります。この場合は、必ずその学校を受験し、合格したら必ずその高等学校へ進学することが条件になります。

②第2希望(併願)

公立や他の私立高校が第1希望の場合に、第2希望としての相談ができる高等学校があります。

③第3希望～(併願)

高等学校によっては、第3希望以降でも相談ができる場合があります。

7. 学校訪問（学校見学・体験入学）

進路決定の際には、考えている高校などを見学しましょう。自分の足で訪れ、自分の目で雰囲気を確かめることが非常に大切です。入試に関する情報を得られることもあります。

→進路コーナーに、体験授業や授業公開、学校説明会の情報が随時紹介されます。

→各学校のホームページでも確認できます。

※申込方法は学校によって異なります。必ず情報を確認してください。

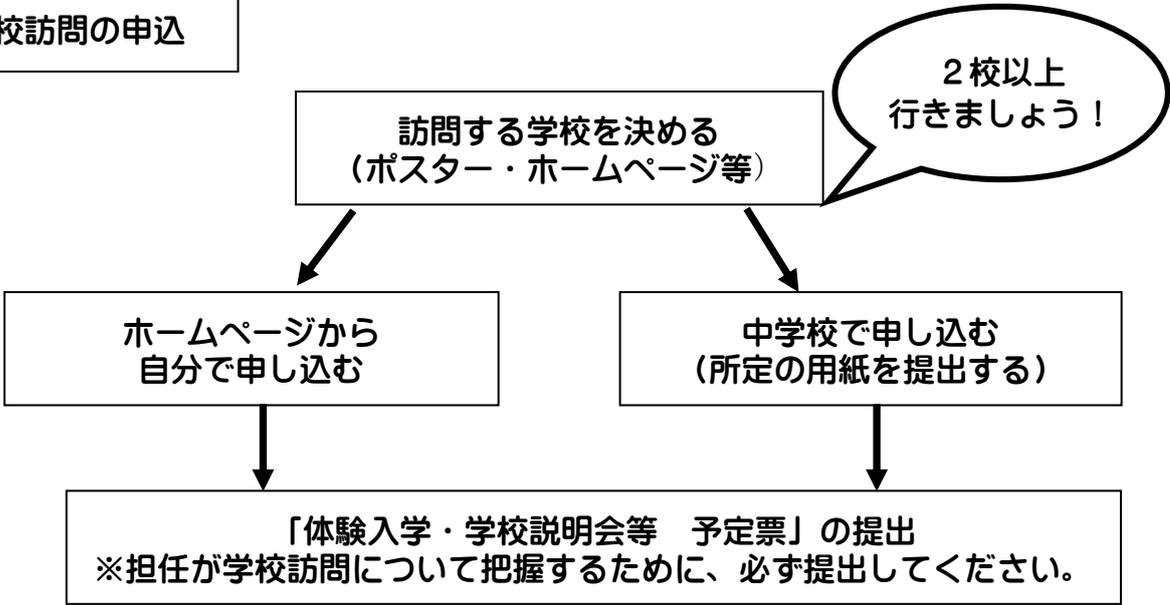
（インターネットによる事前申込、中学校を通した申込、申込不要など）

◎私立学校の面接で・・・「何回訪問してくれましたか？」

私立高校の面接に「あなたは本校を何回見に来てくれましたか」と質問する高校があります。高校側としてもその生徒がどれだけ熱意を持って志望してくれているのを知りたいのが本当の気持ちでしょう。当然、回数の多い生徒には有利になることが予想されます。

◎要注意！高校訪問中に面接が始まっている！？さて、高校訪問をしようと決めて高校を訪れたとき、高校側の先生は忙しい時間を割いて極めて親切に案内してくれますが、実は服装、言葉遣い、態度等を観察しています。つまり事前面接と思ってください。くれぐれも言動には気をつけましょう。

学校訪問の申込



※実際に受験(受検)するまでに、必ず希望する学校を訪問しましょう。
 ※なるべく夏休み中に訪問しましょう(開催しているならば)
 ※「体験入学・学校説明会等 予定票」は、申し込んだらすぐに提出してください。
 (夏休み中に申し込んだ予定票の提出は、9月でよいです)
 ※体験入学・学校説明会等に参加した後は、「体験入学・学校説明会等 報告書」を提出しましょう。実際に受験する際に面接などで役に立ちます。

見本

体験入学・学校説明会等 予定票

3年 組 番 氏名

高校名	
参加希望日 (学科等)	月 日 (曜日) 時間 : ~ : 科
その他 (保護者の参加有無 ・申し込み方法等) ※該当するものを丸 で囲む	保護者の参加 (有り ・ なし) 申し込み方法 個人【 インターネット ・ その他 () 】 学校【 FAX ・ 電話 ・ インターネット ・ その他 】

参加した高等学校名 (科)	高等学校 () 科
所在地 (住所)	
参加した日 (曜日) ・ 開始時間	月 日 () (時 分 ~)
通学方法 ・ 所要時間 (分) ○路線・駅名 (バス停) を 記入する ○駅 (バス停) から徒歩の 場合時間も記入する 片道運賃 _____ 円	通学方法 自宅 → → 学校 所要時間 時間 分
・ 説明内容 (体験内容)	
*わかったこと 例) 全校生徒数 学校の特徴 学科の特徴 募集人員 制服 取得できる資格など 卒業後の進路 選抜方法・選抜日程	
*気づいたこと・参考にな ったこと (学校の雰囲気・在校生 の様子など)	

8. 令和5年度進路関係計画と学習の見通し

月	進路関係行事	進路指導のねらいと主な活動	学習の見通し	主な行事
4		・3年生としての目標と1年間の見通しをもつ	◇1・2年の復習 ◇学習課題の確認	入学式(11日)
5		・希望把握と意識づけを行い、自己に関する理解を深める。	↓	
6	実力テスト①(2日) 進路説明会①(20日)	・自分について総合的に把握する。		◇不得意科目の克服
7	第1回進路希望調査(7/4) 三者面談(26日~8/3日)	・第1回実力テストの結果等から夏休みの課題をつかむ。	↓	終業式(20日) 夏休み
8	高校見学・体験入学	・目標に向かい、目的意識のある生活をする。 ・夏休み中の成果を確認する。		◇実力養成
9	実力テスト②(4日) 「校外活動に関する事柄の調査書記載について」配付(9月中旬) 第2回進路希望調査配付(9/29)	・夏休みの反省から2学期の過ごし方を考える。	↓	始業式(1日) 定期テスト②(14、15日) 体育祭(27日)
10	実力テスト③(3日) 進路説明会②(12日)	・高校見学・体験入学、確認テストの結果等から自己の進路希望を絞り込む。		◇発展問題やより多くの問題に挑戦
11	実力テスト④(6日) 最終進路希望調査(11/21) 三者面談(22日~30日) 受験校確認書提出(~30日)	・進路希望の確認と検討を行う。 進路希望の決定	↓	定期テスト③ 3年(1、2日)
12	専門学校試験 面接練習 私立高入試相談(15日~) 調査書記載内容確認書配布 私立高校出願	・受験に必要な書類などの準備をする。 ・受験日程、応募書類の確認をする。		◇総まとめ ◇過去問題を解く
1	実力テスト⑤(10日) 私立高校前期入試	・出願・入試・合否の確認	↓	始業式(9日)
2	私立高後期入試 公立高出願(6~8日) 公立高入学者選抜(20・21日)	・出願・入試・学検・合否の確認		
3	公立高入学者選抜発表(4日) 進路の決定	・3年間のまとめと卒業後の生活について考える。		予餞会(1日) 卒業式(13日)

9. 受験期の生徒を理解するために

【生徒の心】

4月当初の生徒は、「もう3年生だ。」「自分は受験生だ。」と自覚することで生活にはりが生まれ、個々の生徒にやる気が見られたり、全体の雰囲気もこれまでと違ったものが感じられます。それがひと月、ふた月と月日がたつにつれて、最初のやる気が空回りして、焦りにつながり、「このままではいけない」とイライラや不安が表れてきます。

【1学期にありがちな生徒の心】

- ① 自分の勉強が思うように進まず、何をやったらいいのかわからない。
- ② 卒業後の進路が漠然としていて、わけがわからず不安である。
- ③ 親や先生と進路について相談をしたいが、何を話していいのかわからない。
- ④ とにかく未知のものなので受験が怖い。

【2学期にありがちな生徒の心】

- ① 成績が伸びないことへの焦り。
- ② 進路の決定を迫られるが、どうしたらいいのかわからない。
- ③ 親と自分の意見が合わず、イライラする。
- ④ わけもなくイライラして怒りっぽくなる。

【3学期にありがちな生徒の心】

- ① 「〇〇君はどこへいくのだろうか。」「〇〇さんはきっと勉強がはかどっているんだろうな。」「もし落ちたらどうしよう。」など、とりとめのない事ばかり考えている。
- ② 進路希望先は決まったが、本当に大丈夫だろうか。
- ③ 調査書はどうだろうか、今までの成績が悪いので、今頑張ってもだめじゃないか。

等々、上に挙げたのはごく一部です。思春期の生徒達は、これ以外でも学校のこと、家庭のこと、友達のこと、異性のことなど様々な悩みをかかえています。

10. おわりに

(1) 進路の目的を明確にしていきましょう。

高校進学を考えるとき、**志望校でどんな勉強をして、その後どんなことをしたいのかを十分に考えてください。**面接などで「貴校で部活を頑張りたい」と部活動だけを強調する生徒もいますが、高校側としては部活動も頑張ってもらいたいけれど、**本来の目的である「学ぶこと」について頑張ってもらいたいと思っています。**

自分の将来についてまだ考えていない人もいますが、将来のことまで考えて、**目的をしっかりと決められる**とよいと思います。

(2) **高校見学会や学校説明会にしっかりと参加しましょう。**